

栃木県に適した品種を栽培して 手軽に収量アップしよう！



～ 飼料用とうもろこし ～

平成29年12月 栃木県

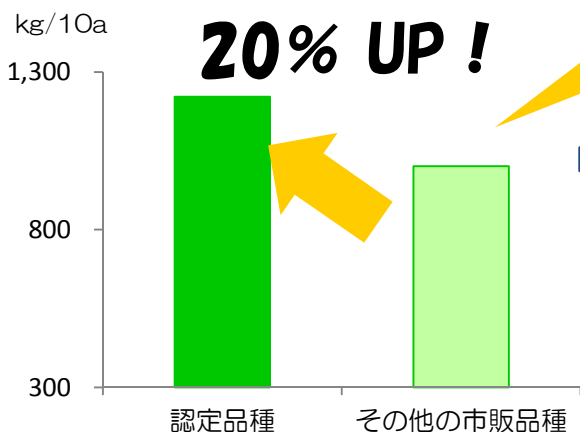
「認定品種」選定が収量アップのカギ

栽培試験で
実証済み

- “認定品種” とは 県内での栽培に適した品種
- “手間をかけず” に TDN収量が大幅アップ↑

種子価格を
考慮しても
お得

＜品種とTDN収量＞



認定品種の利用で
TDN収量が20%アップ！

〔認定品種に置き換えた場合（1haあたり）〕

飼料費を
約20万円節約可能！

※増収分をチモシー乾草に置き換えて試算

【参考】畜産酪農研究センター試験結果

品種選定の目安

次ページで
各認定品種の特徴
を紹介しています。

- 山間地・高冷地なら・・・ **極早生** 選定で短期決戦
- 倒伏対策には・・・ **早生** 選定で台風時期回避
- 年1作の場合は・・・ **中晩生** 選定で収量確保
- 二毛作の場合は・・・ **早生・中生** 選定で計画的な作付実施

飼料用とうもろこし 栃木県認定品種

P0640 (極早生) RM110 [パ]

大型で乾物収量が多い



特徴・栽培上のポイント

- ◆ 初期生育が良好で、乾物収量が極めて多い
- ◆ 緑度保持に優れる

穂重割合(%)	栽植密度(本/10a)
52	6,800~7,200本

適用地帯	平坦	中間	山間	高冷
	◎	◎	◎	○

TX1241 (極早生) RM110 [夕]

出芽性に優れ、安定多収



特徴・栽培上のポイント

- ◆ 出芽性は良好、長稈で乾物収量が多い
- ◆ 稈が太く、耐倒伏性に優れる

穂重割合(%)	栽植密度(本/10a)
55	7,000~8,000本

適用地帯	平坦	中間	山間	高冷
	◎	◎	◎	○

SH4681 (早生) RM115 [雪]

長稈で倒伏、折損に強い



特徴・栽培上のポイント

- ◆ 長稈で、子実・茎葉ともに収量が多い
- ◆ 倒伏、折損に強い

穂重割合(%)	栽植密度(本/10a)
53	6,500~7,000本

適用地帯	平坦	中間	山間	高冷
	◎	◎	◎	○

ZX4182 (早生) RM118 [全]

茎葉が多く、倒伏に強い



特徴・栽培上のポイント

- ◆ 出芽性に優れる
- ◆ 茎葉収量が多く、耐倒伏性に優れる

穂重割合(%)	栽植密度(本/10a)
48	6,800~7,200本

適用地帯	平坦	中間	山間	高冷
	◎	◎	◎	○

P2307 (中晩生) RM125 [パ]

長稈で茎葉タイプの高収量品種



特徴・栽培上のポイント

- ◆ 茎葉タイプだが、TDN収量が多い
- ◆ 耐倒伏性に優れる
- ◆ 除草剤のニコスルフロンで葉害を生じてしまうため、留意すること

穂重割合(%)	栽植密度(本/10a)
47	5,800~6,200本

適用 地帯	平坦	中間	山間	高冷
	◎	◎	◎	△

NS127 (中晩生) RM127 [カ]

長稈太茎の茎葉タイプで倒伏に強い



特徴・栽培上のポイント

- ◆ 長稈で着雌穂高が高いが、太茎で倒伏に強い
- ◆ 茎葉乾物収量が多く高収量

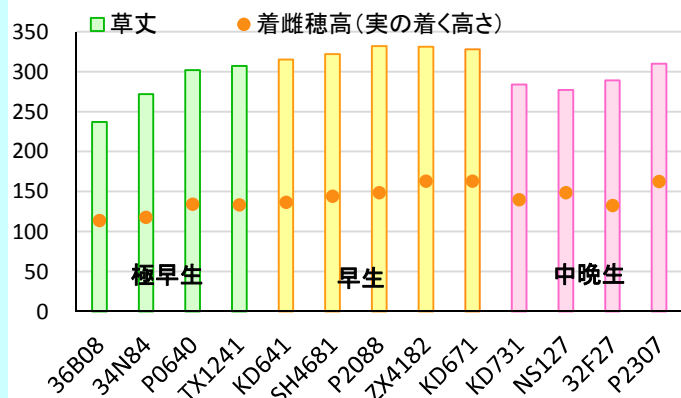
穂重割合(%)	栽植密度(本/10a)
42	6,000~6,500本

適用 地帯	平坦	中間	山間	高冷
	◎	◎	◎	△

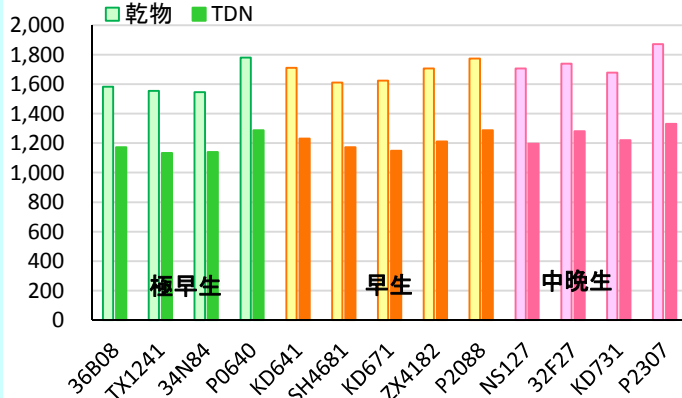
【その他の認定品種】

品種	早晩生	RM	穂重割合%	特性及び栽培上の注意	適用地帯		
					平坦	中間	高冷
36B08 [パ]	極早	106	60	稈長は低いが、雌穂割合が高く、すす紋病に強い	○	◎	◎
34N84 [パ]	極早	108	59	初期生育が良好でTDN多収	◎	◎	◎
KD641 [カ]	早	114	49	茎葉、子実の収量がともに多く、倒伏に強い	◎	◎	○
KD671 [カ]	早	117	50	雌穂、茎葉ともに高収量	◎	◎	○
P2088 [パ]	早	118	57	雌穂割合が高く、極めて高収量	◎	◎	○
KD731 [カ]	中	123	53	長稈太茎で安定した高収量	◎	◎	○
32F27 [パ]	中晩	126	58	長稈で雌穂割合が高く倒伏に強い	◎	◎	○

稈長及び着雌穂高(cm)

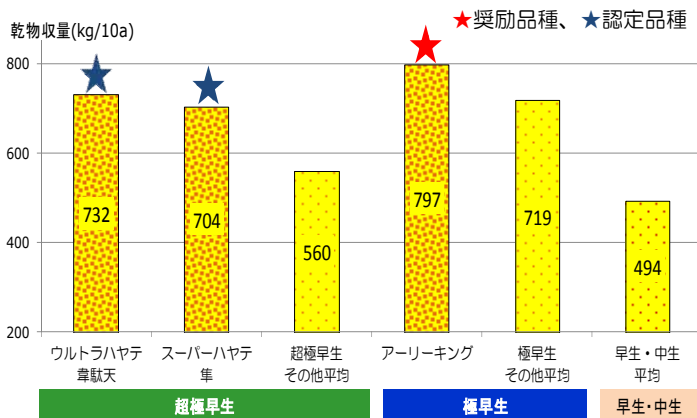


乾物及びTDN収量(kg/10a)



+ Topics 1 ~ 年内刈りエンバクのご紹介 ~

●エンバクについて栽培試験結果から年内刈りが可能で収量の優れた品種が選定されました。



新しく選定された品種

- ◆「**アーリーキング**」(奨励品種)
 - ・極早生で、晩夏播きで年内刈りが可能
 - ・出穂期以降の水分低下が早い。
 - ・収量、耐倒伏性に特に優れる。
- ◆「**ウルトラハヤテ韃駄天**」(認定品種)
 - ・超極早生で、極早生の品種より遅播きが可能
 - ・収量、耐倒伏性に優れる。

<エンバク収量確保のため・・・>

- ・年内収穫エンバクの播種適期は8月中旬～9月中旬です。早播きすると収量が低下するので注意しましょう。遅播きの場合は超極早生の品種を利用しましょう。
- ・発芽不良や倒伏の原因となるので、播種後の鎮圧はしっかり行いましょう。

+ Topics 2 ~ WCS用稲のおすすめ品種 ~

●WCS用稲は、様々な特性があるので、利用形態にあった品種を選択しましょう。

[栃木県奨励及び認定品種の形質一覧(H29時点)]

品種名	夢あおば	たちすがた	ホシアオバ	クサホナミ
早晚性	早生	中生	中生	晩生
乾物収量	2.0t/10a	2.4t/10a	2.2t/10a	2.3t/10a
用途	兼用	WCS用	兼用	WCS用
耐倒伏性	強	強	やや強	強

◆兼用

モミ収量も確保でき、飼料用米にも利用ができる品種

◆WCS用

モミの割合が少なく、比較的稈長が長い品種

●モミはほとんど消化されないことから、短穂で茎葉型の品種が注目されています。

[短穂・茎葉型の特徴]

糖含量が高い！
モミの割合が少ない！
収穫可能な期間が長い！

発酵が良好
栄養ロスが小さい。
作業計画が立てやすい。



●期待の品種「つきすずか」の現地栽培実証を実施中

現在、縞葉枯病に抵抗性のある品種が開発され、現在、県内で栽培実証を進めています。

➡ つきすずかに関連する情報については、今後も、発信していきます。

お問い合わせ先：畜産酪農研究センター 企画情報課
各農業振興事務所 経営普及部
経営技術課 技術指導班
発 行：畜産振興課 環境飼料担当

TEL：0287-36-0768
(最寄の事務所にお問い合わせください)
TEL：028-623-2321
TEL：028-623-2350